

別記様式第5号（6の2関係）〔1枚目〕

## 佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

評 価 日 | 29年 3月 27日

団体名	iitoco!!
事業名	地域を繋ぎ、地域を活性化 本気で夢を実現する場コワーキングスペースiitoco!!の開設と新たな価値
対象経費	2,147,762 円

事業 の 目 的 ・ 内 容	目的 <p>時代の変化に対応し、地域を維持・発展させていくためには、自ら価値を生み出していく人材が必須である。そして、その人材の連携による課題解決、新たな価値創造が求められている。コワーキングスペースは2011年ころから急激に広がり始め、2014年時点では全国に約300か所のコワーキングが開設されている。協働共創の場であるコワーキングスペースの可能性は非常に大きく、必要性が高いと思われる。コワーキングスペースとして創業支援やクラウドファンディングなどの資金調達支援、女性の社会復帰支援などの事業に発展させる要素がある。また、コワーキングスペースにはフリーランスや経営者などの創業経験者が多く集まる場なので、既存事業や新規事業による雇用創出の可能性はもちろん、創業予定者への経験を基にした直接的なアドバイス等がコワーキングスペース内での出会いにより自然発生的に行われていくため、新規創業を生む可能性も非常に高い。このように、重点テーマに寄与する可能性が高いと考えている。</p>
内容	2016年8月3日に、佐久市初となるコワーキングスペース「iitoco!!」を開設。コワーカーによる協働の場の提供や、ワークショップ等の学びや交流のためのイベントを多数開催。

事業の活動実績	フリーランス等で活動している者、若者や女性など今後起業を予定している者や、現状事業規模とまでは行かないが趣味や副業として技術を持った者など、幅広い層に対して事業を展開。事業終了日（3月10日）現在、月額会員19名（主催メンバー含む）が利用しており、主催イベントには本事業期間累計400名以上が参加した。
	事業内容（提供したサービス） ①ワークスペースの提供 ②オフィス設備の共有 ③各種講座・イベントの提供 ④本や経営ノウハウの共有 ⑤マッチングサービス ⑥その他付帯サービス



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	会員コワーカー	
	・会員コワーカー	目標：平成28年3月末までに30人に対し実績19名
・若者・女性起業支援 目標：平成28年3月までに起業3名に対し実績1名		
コワーキングスペースを設置したことにより、佐久地域のコワーカーが徐々に集まり始めてきている。実際にオフィス環境としては、上々の評価をいただけている。		
また、月額利用のコワーカー以外の一時利用者、会場利用者、またイベント利用者等の交流が盛んにおこなわれ、様々なビジネスアイデアや起業、コラボレーションが生まれた。実際クラウドファンディングに挑戦し成功した会員も出始めており、「地域を繋ぎ新たな事業創出」への効果が徐々に出始めている。		
様々な専門性を持った人が、コワーキングスペースで出会うことや、全国のコワーキングスペースのネットワークを通じ、多くの事業の種が生まれた。		
・信州古民家再生計画（仮称） ⇒空き家問題に关心がある方が問題提起して、佐久地域の古民家に興味を持っている方に向けてフェイスブックを使って配信。約30名程度が集まり、古民家再生についてダイアログを行った。継続して課題解決のために活動をしていく予定。		
・佐久移住計画（仮称） ⇒佐久へ移住を促進する事業を立ち上げ予定。現在アイデアレベル。今後事業化に向けてビジネスモデル設計を行っていく予定。		
・佐久シャルソン ⇒全国のコワーキングスペースを訪問するコワーキングツアーノーの中で出会った繋がりで「シャルソン」を紹介され、iitoco!!主催で今秋開催予定。		

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかつた    4 ほとんどできなかつた
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかつた    4 ほとんどできなかつた
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ    2 多少の変更があつた    3 大幅に変更している
	その他、評価すべき点等	別紙自己評価参照

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

様々なアイデアが出てきており、これはメンバーが固定化されたコミュニティーやオフィスではなかなかできないことだと考えている。様々な知恵や知識を持った異業種の人たちがコワーキングスペースで出会い、話すことによって新たなビジネスアイデア生まれやすくなっている。今後は出始めているビジネスアイデアを事業レベルで立ち上げられるようコワーカーを始め各団体と協力して進めていく。